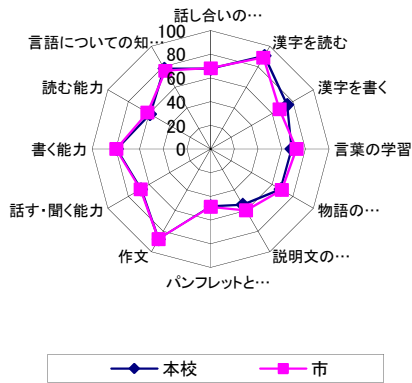


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	67.8	68.2
	漢字を読む	90.7	89.0
	漢字を書く	74.6	67.0
	言葉の学習	68.3	72.3
	物語の内容を読み取る	68.0	69.2
	説明文の内容を読み取る	54.3	59.8
	パンフレットと話し合いの内容を読み取る	48.3	48.9
	作文	87.8	87.8
観点別	話す・聞く能力	67.8	68.2
	書く能力	79.2	79.5
	読む能力	59.1	61.5
	言語についての知識・理解・技能	78.2	76.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	・本校の平均正答率は、市の平均正答率とほぼ同じである。話しての意図や工夫を考えながら話の内容を聞くことはできているが、司会者の役割を理解して適切な言葉使いで話すことを問う問題の正答率が市の正答率を5ポイント下回った。	・話し合いの学習を行う際、これまで通り話し手の意図や工夫を考えながら聞くことができるようにすると共に、様々な話し合いの場面で、話し手や聞き手や司会者など、それぞれの立場にたって話したり聞いたりする学習を取り入れていく。
漢字	・本校の平均正答率は、全ての問題で市の平均正答率を上回っている。ただ、6年生で学習した漢字よりも5年生で学習した漢字の方が正答率が低い。	・漢字チャレンジテストに取り組んでいることや、日々の取り組みの成果が表れている。 ・前年度の漢字ができていない児童が多いので、小テストなどで取り上げて習熟を図っていく。
言葉の学習	・本校の平均正答率は、市の平均正答率を4ポイント下回った。三字熟語の構成については理解できている児童が多いが、尊敬語や謙譲語などの敬語の使い方が正しく理解できていない児童が多かった。	・敬語の学習は行っているが、学習時間が比較的短いことと、普段使う機会が少なく関心が低いことが理解が進んでいない原因と考えられる。実際に使う場面を設定して学習することや、普段の生活においても敬語の使い方を指導していく。
物語の内容を読み取る	・本校の平均正答率は、市の平均正答率とほぼ同じである。物語の内容を読み取る問題では、場面の情景を思い浮かべながら登場人物の心情を読み取る問題の正答率が高かった。	・国語の研究をしてきた成果が表れている。今後もこれまでの学習を継続していくと共に、朝の読書などで物語の作品に触れる機会を多くとっていく。
説明文の内容を読み取る	・本校の平均正答率は、市の平均正答率を5.5ポイント下回った。三問とも市の正答率を下回ったが、内容を読み取る問題よりも、構成を押さえながら読み取ることを問う問題の正答率が低かった。	・説明文の構成を理解できる学習はこれまでも行ってきたが、正しく身に付いていなかった。教科書に出てくる説明文を構成を押さえながら学習し、理解できていない児童には、過去に学習した説明文を用いて、説明文の構成について理解を深められるようにする。
パンフレットと話し合いの内容を読み取る	・本校の平均正答率は、市の平均正答率とほぼ同じである。話し合いの内容を読み取り、的確に書き加えることができているかを問う問題は、市の平均を上回った。	・資料から必要な情報を読み取り、内容を正しく理解できる力を高めるために、身近にある資料を学習に取り入れるようにする。
作文	・本校の平均正答率は、市の平均正答率とほぼ同じである。二段落構成で書くことを問われた問題の正答率は市の平均を上回ったが、指定された長さ(141字～200字)で書くことを問われた問題では、市の平均を下回った。	・段落構成を意識しながら、指定された文字数で書く学習の機会を増やしていく。国語の学習だけでなく、総合的な学習などの他の教科においても文章を書く機会を設け、作文力が高まるようにする。